

# 新潟民商

新潟民主商工会  
新潟市沼垂西3丁目  
電話(243)0141  
14年2月24日

## 今年四五回目の統一行動

### 消費税増税の怒りの声を集めよう

三月一三日に重税反対全国統一行動新潟県中央集会在午前九時、県民会館で開催されます。一九七〇年に第一回が開催され今年は四五回目です。消費税増税に対する怒りの声を集め最大規模の開催を目指しています。

### 今年も労働者・市民団体に行動広がる

労働組合は、私たちの行動に合わせて一三日早朝新潟駅前増税反対の宣伝を行います。九時からの私たちの集会に参加、その後昼休み市役所前に集合デモ行進を行います。

### 税務署は民商の勢いに關心(税務署交渉)

一七日高橋会長・野上副会長・野澤事務局長が税務交渉で当日の打ち合わせをしました。税務署は「電子申告を勧めてほしい」「集団での申告はやめてほしい」としましたが、民商では全市で集まりを開催し、記帳の義務化、消費税増税、税金の計算について学習して三・一三に参加する準備をしていること、会員は増えている、申告書を提出しない人も増税反対の意思を表すために参加すると説明、民商の勢いに大きな関心を寄せている様子でした。

### ◆郵送で申告書を送る方、法人で申告書の提出が今回ない人も是非参加下さい。

**第一回理事会 3月3日(月)7時**  
3・13重税反対統一行動に向けた運動の相談はこの日に提案します

**国保値上反対・引下署名は25日に二回目の市提出を行います。**  
集めた署名は至急事務所に!

## 債権管理課交渉で差押え止めさせる

石山支部

新潟民商では二月一四日、Cさんと市債権管理課に差押えの中止と誠実な納付相談を求めて、Cさん夫婦、支部長、目崎元市議、事務局二名で交渉に臨みました。**市税滞納に対し、相談に乗らず差押えで脅す**

Cさんは営業の不振などの理由から住民税、固定資産税を滞納しており、市納税課に毎月一万円ずつ支払うという約束をして、その通りに納め続けていました。しかし、市の債権管理課に担当が代わってからは対応が一変。「月一万円の納付では足りない」とそれまでの担当との約束を反故にし、最終的には「年金担保融資というものもある。借りないのであればそれでもいい。その時は振り込まれた年金から差押えする」と脅し始めました。会って相談に乗ってほしいと訴えるCさんに対しても、「会って話しても意味がない。差押えを執行する」とまともに取り合おうともしくなくなっていました。

### 交渉で課長謝罪「横暴に見えたのは申し訳ない」

こんな対応をされては相談にならないし、年金がなくなったら生きていけない、とCさんは民商に來所し、急遽債権管理課長との交渉が決定しました。「ちゃんと相談に乗ってほしい」と伝えたCさんに対し、債権管理課長は「短期間で滞納を解消したいという思いがあった。職員の態度が横暴に見えたのは本当に申し訳ない」と謝罪しました。また、徴収の猶予などの延滞金が減額される申請についても、「申請は拒みません」と返答がありました。

### 営業の分かる資料が必要。自主計算を力に

また、Cさんは二四年度の確定申告で計算間違いがあり、本当の所得よりも高く申告をしていました。そういった事情や、商売が不安定なことを伝えると、「そのよな事実を客観的にみることができる資料・帳面を見せてほしい。個別の事情も見て相談に応じる」とのこと。七月まで帳簿を付けて、それを元にして相談をしていくことになりました。



# 確定申告・各支部で続々班会

## 太平支部

太平支部では、九日(日)午後、下山コミュニティで申告相談と合わせ、記帳学習会を行いました。このために、副会長の野上さん、料飲支部の浦野さんにも駆けつけてもらいました。支部からは、役員の佐藤さんら六名が参加しました。

野上さんは税の不公平と今年度からの記帳義務化についてパネルで説明し、一人ひとりが現金出納帳やパソコン記帳に習熟して、営業をしっかりとつかむことができようになる、消費税増税の不当性もわかってくることを述べました。これから申告をする参加者は真剣に受け止めていました。

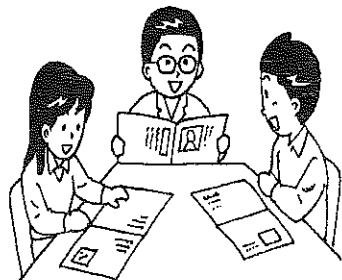
また、浦野さんは参加者一人ひとりに自主計算ノートを使った記帳の仕方を説明したり、営業の様子も聞いて佐藤さんらと交流を深めていました。

参加者のなかにはこれまで北東ブロックの記帳学習会を継続していた人もおり、昨年に比べて自主記帳が進んでいることが覗えました。

個別の相談会にしないで、参加者みんなで記帳や税金のことを自分のこととして考える集まりになりました。

## 小針支部

五日(水)、西新潟市民会館で申告準備の班会が開かれ、しかもまち支部の片桐支部長よりパネルの説明をして頂き、とても分かり易くみんな真剣に聞いていました。片桐支部長から「班会を開いてください。」の呼びかけに出席者から「開いてみよう」との声がありました。また、出席した会員の要求相談にもって喜ばれました。



翌六日には、真砂地域に渡部県連会長からパネルを一枚ずつ丁寧に説明して頂き、特に所得の半分が公的負担(税金・国保・保育料など)になっていることを知り、「やっとカラクリが分かった。こんなに負担が多いとは思わなかった。今回、分かって良かった。」「何で基礎控除は、三十八万円なんだ。こんな少ないのは、おかしい」などいろんな意見が飛び交いました。拡大と署名の訴えをしつつ、商売の交流もしました。

毎回3名～5名くらい集まって楽しく学習しています。分からないことを教え合ったり、時にはお喋りばかりでほとんどパソコンを打たないで終わる事もあります。色々な業種の方がいるので、自分の知らない業種の話の聞いたり、お互いの仕事で何か一緒にできないかなど話をしています。今では月2回の記帳学習会がとても楽しみになりました。

## 新潟民商婦人部総会での尾崎優美さん(松浜)の発言

松浜支部の株式会社ライテックの尾崎と申します。法人にして3期目に入りましたが、なんとか潰れないでやっています。私の会社は、主人と私従業員1名の3名でやっています。仕事の内容は、一般住宅やビルの屋上の防水工事をしています。ビルをお持ちの方、いつでも工事しますのでお声掛け下さい。1級防水施工技能士がお伺いします。「去年の商工新聞10月21日号の一面トップに私たち夫婦が載っていますので、ぜひ、ご覧下さい。」

記帳学習会には2年程前から参加しています。その頃は子供が小さかった為、私の自宅に集まってやっていました。その後、東区プラザ 下山コミュニティハウスでの学習会に参加し、松浜支部の方も何名か参加されていたので松浜でやる事になりました。

今、松浜支部では、月に2回火曜日の午後1時から大澤製缶さんの事務所をお借りして記帳学習会をやっています。

去年、松浜支部も記帳学習会に民商のDVDの取材がきました。ついに全国デビューだ!!とはしゃいでいたのは私だけで、一緒に撮影をした大澤さんは落ち着いて撮影をしていました。

機会がありましたらぜひご覧下さい。他の支部でも記帳学習会がもっと盛んに行われればいいなと思います。そこから何か仕事につながっていくかもしれません。人とのつながりを大切に、これからも積極的に参加したいと思います。